

01a プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	出島交流会館(中止)
・講師	麻生教育サービス(AES) 山口 新吾氏
・開催月日	H30年05月09日(水)・10日(木)・11日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

開催条件未達のため中止

2. 対象者

「プロジェクトマネジメントの基礎」コース受講もしくは同等の知識をお持ちの方。
プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

若手からベテランまで、すべてのメンバが、協力し合って創発的に成果を出し、このチームでもう一度働いてみたいと思わせるようなチーム作りの方法を習得します。

- 1.プロジェクトの現場を取り巻く環境、2.注目される「現場力」、3.成功するプロジェクトを増やすには、4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル、5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～、6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～、7.現場力向上に役立つ理論～リーダーシップ編～、8.現場力向上の実践

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
0.オリエンテーション	0.5	・プロローグ ・自己紹介
1.プロジェクトの現場を取り巻く環境	1.0	・システム開発PJを取り巻く環境 ・経営の中で“ヒット”への関心の高まり ・様々な人々から構成されるチーム ・ワークライフバランスの必要性
2.注目される「現場力」	1.0	・“現場力”で注目される企業 ・個が輝き響き合うチームの要素 ・現場力による差別化が競争力を生み出す ・現場力が浸透すると・・・
3.成功するプロジェクトを増やすには	0.5	・成功プロジェクトを増やすには ・マネジメントと現場力の融合
4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル	1.0	・プロジェクトマネージャの役割 ・プロジェクトマネジメントに求められるスキル ・情報を“配る”マネジメント
5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～	1.0	・モチベーションの基礎理論 ・目標とモチベーション ・メンバのやる気を高める5つのステップ ・当事者意識を持たせるための3つのキーワード
【演習1】モチベーション向上のために	1.5	・演習問題説明／演習／発表
6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～	1.0	・コミュニケーションの流れ ・コミュニケーションの基本モデル ・コミュニケーション・バリア ・バーバル／ノンバーバルコミュニケーション ・様々なタイプのステークホルダとの対応

【演習2】 聴く、話す	1.5	・演習問題説明／演習／発表
【演習3】 様々な価値観	1.5	・演習問題説明／演習／発表
7.現場力向上に役立つ理論 ～リーダーシップ編～	1.0	・リーダーシップの機能 ・サーバントリーダーシップ ・様々なリーダーシップ理論 ・優れたリーダーの共通する4つの戦略 ・ほめると叱る
【演習4】 リーダーシップ	1.5	・演習問題説明／演習／発表
8.現場力向上の実践	1.0	・手法の導入ではなく風土を上げる ・目に入れても痛くないチーム目標を設定する
【演習5】 チーム目標	1.5	・演習問題説明／演習／発表
8.現場力向上の実践(続き)	1.0	・改善の2つのアプローチ ・朝会、見える化、ふりかえり
【演習6】 ペーパータワー	1.5	・演習問題説明／演習／発表
8.現場力向上の実践(続き)	1.0	・チーム力は作業標準や仕組みに表れる ・ヨコテンでチームの成果を組織の成果に ・発表会でチーム間の相乗効果を狙う
【演習7】 自社でのヨコテン検討	1.5	・演習問題説明／演習／発表
6.まとめ、総括	0.5	・まとめ ・ふりかえり
計	21.0Hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

①オリジナルテキスト

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるファシリテーション能力を身に付ける。

7. レベル

ITSS:レベル2～3